

あなたの韓国文化の マイブームは何ですか？

協会10年の歩みの中で運営部として企画運営に携わってきた皆様にアンケートをお願いしました。10人弱のメンバーの回答なので、2人以上回答があったものを掲載しています。皆さんだったらいかがですか？マイブームを考えてみませんか！

あなたの /

1 好きな韓国ドラマベスト3は何ですか？

テジャングム 屋根部屋の皇太子
私の名前はキム・サムスン 家門の栄光
冬のソナタ

あなたの /

2 好きな韓国の歌ベスト3は何ですか？

会いたい ガチョウの夢 マニヤゲ

あなたの /

3 好きな韓国映画ベスト3は何ですか？

僕の彼女を紹介します 国際市場で逢いましょう
ブラザー

あなたの /

4 好きな男性俳優ベスト3は誰ですか？

キム・スヒョン ソ・ジソプ チソン
チ・チャンウク パク・シフ チ・ヒヨヌ
ユチョン

あなたの /

5 好きな女性俳優ベスト3は誰ですか？

チェ・ジウ ハ・ジウォン チョン・ジヒョン
ユン・ウネ イ・ボヨン

あなたの /

6 好きな韓国料理ベスト3は何ですか？

キムチチゲ サムギョプサル チャプチェ
ビビンバ ヤンニョンチキン キムパブ
韓国粥

あなたの /

7 行ってみたい所(韓国)ベスト3はどこですか？

釜山(プサン) 慶州(キョンジュ)(仏国寺)
楊平(ヤンピョン) 麗水(ヨス)(ケーブルカー)
安東(アンドン)(安東河回村) 済州島(チェジュド)
ドラマのロケ地

あなたの /

8 体験してみたい韓国文化ベスト3は何ですか？

韓国料理 語学留学 墨絵・書道
伝統楽器演奏 田舎にホームステイ

運営部の皆さんにそれぞれベスト3を選んでもらいましたが、回答は本当に様々でした。皆さんそれぞれの感覚で韓国を楽しまれていますね!ご協力ありがとうございました。

あとがき

松山市と平澤市は友好都市です。では、平澤市はほかにどの都市と友好都市かご存知ですか。その市の民間団体の方から、以前、当協会が平澤市の平澤大学校へのプチ留学を実施した時、関心を示していただきました。私たちも、いつか市の垣根を越えた交流がしたいと思っていました。

昨年、10周年で平澤市を訪れた際、平澤国際交流協会の事務局長が、日本のそれぞれの市と平澤市と3市の交流を提案していただき、会うことができました。マラソンブースでの活動終了後、一緒に平澤市内の観光や、文化交流会へもお誘いし交流しました。その団体は、あおもりコリアネットです。さきほどの答えは青森市です。

出合いは、お互いを振り返るいい機会であり、切磋琢磨しあえる関係になると考えます。松山市で韓国との文化交流をしている団体の皆さまとの、横の繋がりを大切に、20年目への新たな目標を持って、これからも取り組みたいと思います。今後ともよろしくお願いたします。(運営部AK)

〒790-0003 愛媛県松山市三番町6丁目4番地20 まつやま国際交流センター内
TEL089-943-2025/070-5355-0403(協会活動申込・お問合せ)
FAX089-931-2041 E-mail matsu.hira.kyokukai@gmail.com

ホームページ

発行/松山・平澤友好協会

松山・平澤 友好協会 会報

Vol.17
2016

마쓰야마・평택 우호협회 회보 제17호(2016)

平成27年度 平澤市への訪問

日時:2015年10月16日(金)~19日(月)
場所:平澤市一円(平澤港マラソン大会会場など)



2015年2月に、松山市と平澤市の友好都市提携10周年を記念して、平澤市代表团、そして当協会の交流のパートナーである平澤国際交流協会の皆さまが松山市を訪れ、交流事業を行いました。そして、その答礼として、10月に松山市代表团が平澤市を訪問するのに合わせて、当協会の訪問団を結成し、平澤市で交流事業を行いました。

10月16日(金)、松山空港を出発し、韓国の仁川空港に到着しました。翌17日(土)はソウル市内や、近辺の視察観光をして、夕方には平澤市を訪れました。18日(日)は、いよいよ交流の本番です。松山・平澤友好協会10周年記念事業として、平澤港マラソン大会応援及びマラソン会場での交流事業を行いました。当協会と松山市が共同で出展したブースでは、当協会の紹介のほか、お茶やお手玉といった日本文化の体験コーナーを設け、多くの平澤市民の方々が興味を持って参加していただきました。午後には、平澤国際交流協会の皆さまと、サムルノリや韓服の試着体験、オカリナなどの文化交流を実施、夜は平澤市主催の友好都市提携10周年記念祝賀会に参加と、早朝から夜遅くまで本当に充実した1日を過ごしました。(運営部AK)

参加者の声 「初めて平澤市を訪問しました！」

昨年10月に、松山・平澤友好協会運営部員として初めて平澤市を訪問しました。

まず、平澤港マラソン大会でのブースで日本の伝統文化に触れていただくとお手玉」「抹茶・落雁」のお接待。その後運営部で練習してきたオカリナの交流会。「この街で」「アリラン」の演奏。緊張感がマックスの瞬間です。練習時間も少なくなつた演奏でしたが、先方も一緒に吹いていただき、緊張の中無事終わりました。その中で「アリラン」が韓国国民にとって大切な曲だということは私の想像以上のものでした。どんな行事の時でも演奏されるようです。

今回の旅行で韓国の文化・生活に少しでも触れることができ、大変勉強になりました。これからも韓国語を勉強して交流を深めていきたいと思ひます。(運営部WS)



活動のご報告

平成27年度 定期総会

開催日:2015年5月24日(日) 場所:コムズ会議室

会員約40人の出席のもと定期総会を開催し、平成26年度の事業報告・収支決算報告並びに平成27年度の事業計画・収支予算が承認されました。

また、総会にご参加いただいた方々に韓国のお菓子やとうもろこし茶が配られ、韓国の食を楽しんでいただきました。



ハングル講座・交流会

●前期ハングル講座・交流会

開催日:2015年6月28日(日)、7月5日(日)、12日(日)
受講者数:21名

平成27年度のハングル講座は、張英淑(チャン・ヨンスク)先生を講師に迎え、前期3回(6月から7月)、後期3回(11月)開催されました。今回は、なるべく日本語を使わないで、韓国語を聞いたり話したりしようという意識をもって講座に臨みました。

前期講座では、韓国の食文化、韓国の土地(旅行)、K-POPや韓国芸能について講義を聞きました。交流会では、韓国の歌(アリラン)の意味を解説してもらった後、みんなで音楽に合わせて歌いながら踊りました。また、韓国の伝統的な遊び「ユンノリ」をして大いに盛り上がりしました。3回目には、韓国伝統の太鼓を演奏するグループを招いての演奏会や実技講習も楽しみました。

後期講座では、韓国語の文字に触れながら、「檀君神話」、「コンジとパッチ」、「太陽と月になった兄妹」の昔話を読み進めていきました。交流会では、韓国の手を使った遊び「コンギノリ」をしたり、「メドゥプ」という組みひもを作ったりしました。最後の回では、平澤市訪問を再現して、韓国語で会話しながらお手玉をしたり、抹茶をいただいたりしました。

参加した方からは「楽しい会でした。会話が特に勉強になりました。来年も参加したいです。」という、嬉しい声をいただきました。(運営部ME)



会員からの寄稿

「私の出会った日本のやさしさ」

張英淑(チャン・ヨンスク)

- 私は18年前、初めてこの日本の地を踏みました。その時は、韓国と日本は文化的にもまだ開かれていない、近くても遠い国という状態でした。日本に来る前によく耳にしたのが、情的で家庭的な韓国の文化に比べ、合理的で社会秩序中心の日本は本音と建前があるので韓国人にとって日本で生活するのは簡単ではないということでした。また、当時は日本人も韓国人に対する印象はあまり良くありませんでした。それで、韓国から来たという話を出すこともためらうことが多かったです。しかし、実際私が出会った日本、日本人は温かいものばかりでした。今振り返ってみると私は運が良かったのかもしれない。最初に住んだマンションの隣には温かいおばあちゃん、出産時にいろいろと気遣い助けてくれた知人、そして、娘が幼稚園に入るとき必要な用品を手作りして準備してくれた友人もいました。
- 1998年、韓国では日本の映画、ビデオ、漫画が解禁され、2002年の日韓ワールドカップ共同開催を起点に韓国に対する関心は一層高まりました。2004年にNHKでは冬のソナタが放映され韓流ブームが起こり、韓国人と韓国文化に対する認識の変化を感じることができました。
- ある日、娘の幼稚園に行つたとき、「韓国人ですよ、友達になってください。」と声をかけられました。そのとき戸惑いもありましたが、付き合いが始まり今も親しい友達でいます。また、韓国語を学びたいという人も多くなりました。
- 4年前から韓国語を教え始めたものの、逆に日本の方から愛されお世話になっているという具合です。韓国語を通じて韓国の文化、言語を教えますが、私は彼らを通じて日本を見て、感じるすることができます。情は淡泊で割り勘文化だといいますが、母のような、姉のような、温かさを感じます。私もできる限り彼らのために最善を尽くしていきたいです。これからは韓国と日本の懸け橋となり日韓友好に小さな事からでも寄与し、がんばっていききたいと思います。

「松山・平澤友好協会に携わって」

相原 基文

- 2004年11月25日に設立された当協会は、今年度10周年記念事業として平澤市を親善訪問しました。平澤市で開催のマラソンイベントに参加した際、松山市と当協会のブースに、韓国の方々が日本の文化に興味を示し、親近感を持って訪れて下さいました。ブースを開催中その列は途切れることがありませんでした。
- 思い起こすと、10年前韓国のドラマを初めて見た時、映像が何処か懐かしく、自分の青年期の思い出と被る感覚がありました。その時から、こんなに近くの国なのに、同じアジアなのに何も関わっていない事に気づきました。
- その思いがあつて、また人との出会いもあつて当協会の事務局でボランティアという形で日本と韓国の文化交流に携わる事になりました。
- かと云っても、設立当初何の足がかりもなく戸惑うばかりでした。まずは、市の友好都市提携の活動と共に、会員の皆さまの関心事は何かというテーマを掲げ取り組みました。韓国料理、韓国語、映画・ドラマ・歌など、本当に手探りででしたが、同じ意志を持つ仲間との出会いもあり、協会に運営部が出来て、一步一步ではありますが着実に歩んで来ました。当協会設立後、平澤市にも日本と交流したい意志の協会も設立され、両市民交流の機会を持ち、その都度親交を深めてきました。今年度訪問した際の平澤国際交流協会の皆さまとの交流は長年の積み重ねの結果、お互い家族のような親密度で過ごすことが出来ました。
- この10年試行錯誤しながらここまで来られたのも、ひとえに会員の皆さまのご協力とご尽力のお陰と感謝いたします。これからは20年先30年先へと交流が深まり、国は違えど人とひとの心の絆がより深まることを期待いたします。
- 私事ではありますが、この協会を通じて韓国に沢山の友人が出来ました。語学を学ぶことで脳の老化防止も図っています。友達と一緒に韓国への旅が老後の楽しみになりました。協会の歩みと共に、沢山の幸せを頂いて感謝いたします。ありがとうございました。